

# 施策の評価シート(令和4年度分)

1 計画における位置付け					
政策体系	総合計画	目標	04	心やすらぎ住みよいまちづくり	
		基本政策	08	持続可能な都市基盤の整備	管理コード 040821
		施策	21	安全な水の安定供給	本冊ページ 71
	関連個別計画	第2次津市水道事業基本計画			
担当部局		上下水道事業局			
施策の内容(番号)		067		~	069

2 「施策の内容」の総合評価と今後の方向性				
番号	施策の内容	「施策の内容」の総合評価		担当課
		選択区分	今後の方向性 選択区分	
067	小規模な水道施設の統廃合をできる限り行い、県営水道を活用しながら、効率的な施設の更新、耐震化を進めます。	B	①	水道工務課 /水道施設課
068	水道施設を健全な状態で次世代へ引継ぎ、世代間の負担が公平となるよう、さらなる経営基盤の強化に取り組みます。	B	①	水道工務課
069	定期的な水質検査の実施により、水質の汚濁を防止し、清浄な水を確保します。	B	①	水道施設課

※「施策の内容」の総合評価…A=80点以上、B=60点以上80点未満、C=40点以上60点未満、D=20点以上40点未満、E=20点未満  
 ※今後の方向性…①=効果的な事業構成であるため、方向性を維持、②=概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある、③=あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい、④=事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要

3 「施策」の総合評価			
「施策の内容」の総合評価を根拠とした「施策」の総合評価	区分	選択区分	総評(施策の進捗状況や効果等を端的に記載)
		A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	B

※総合評価は、「施策の内容」の総合評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況										
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A	A	B					

※計画期間である平成30年度(2018年度)から令和9年度(2027年度)の本施策の内容に関する推移を示します。

# 施策の内容評価シート(令和4年度分)

## 1 計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	04	心やすらぐ住みよいまちづくり		
		基本政策	08	持続可能な都市基盤の整備	管理コード	040821067
		施策	21	安全な水の安定供給	本冊ページ	71
	関連個別計画	第2次津市水道事業基本計画(平成30年度～令和9年度)				
担当部局	上下水道事業局					
施策の内容 (第2次基本計画) ※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果	067	小規模な水道施設の統廃合をできる限り行い、県営水道を活用しながら、効率的な施設の更新、耐震化を進めます。				

## 2 「施策の内容」に係る主な事業の評価(事務事業評価)

番号	事業名	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから (実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由)
			効	誰	◆ 当初の事業実施計画	○ 実施評価	
	担当課		何	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	○ 事業評価	
			何	何のための事業か	決算額 (千円)	今後の方向性	
067-1	建設改良事業	老朽管更新、管網整備工事	効	持続する水道を目的とし、水道利用者に安全で良質な水道水を安定供給し続ける	◆ 計画に基づき実施	○	基幹管路の管路更新に限り計画を下回っているものの、管路全体では計画を上回る管路更新が行われている。優先順位を検討し、計画的に管路更新を行っていく。
	水道工務課		誰	水道利用者が	◇ 利用者の意見	○	
			何	安全・安心でおいしい水の安定供給が受けられる	2,370,065 (千円)	現状維持	
067-2	建設改良事業	浄水施設整備工事等	効	水道水の安定供給	◆ 第2次津市水道事業基本計画	○	今後の水需要減少を踏まえ、適正な施設規模への見直しを図るとともに、自己水源と県水受水の最適なバランスを検討し、安定した水源の確保に努める。
	水道施設課		誰	使用者が	◇ 第2次津市水道事業基本計画による計画的な実施	○	
			何	安心、安全でおいしい水の安定供給が受けられる	606,181 (千円)	現状維持	
067-3			効		◆		
			誰		◇		
			何		(千円)		
067-4			効		◆		
			誰		◇		
			何		(千円)		
067-5			効		◆		
			誰		◇		
			何		(千円)		

# 施策の内容評価シート(令和4年度分)

067-6			効	◆	
			誰	◇	
			何	(千円)	
067-7			効	◆	
			誰	◇	
			何	(千円)	
067-8			効	◆	
			誰	◇	
			何	(千円)	
067-9			効	◆	
			誰	◇	
			何	(千円)	
067-10			効	◆	
			誰	◇	
			何	(千円)	

※実施評価(計画どおり実施したか)…◎=計画を達成(100%以上) ○=概ね計画どおり(80%以上~100%未満) △=計画を下回った(50%以上~80%未満) ×=計画を大きく下回った(50%未満)

※事業評価(効果があったか)…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…(さらなる)拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価		
	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上	<b>B</b>
	B 60点以上80点未満	
	C 40点以上60点未満	
	D 20点以上40点未満	
	E 20点未満	

4 今後の方向性		
	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持	<b>①</b>
	② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある	
	③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい	
	④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	

※総合評価は、主な事業の実施状況(実施評価)、事業対象者への効果(事業評価)の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況										
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	<b>B</b>	<b>B</b>	<b>B</b>	<b>B</b>	<b>B</b>					
今後の方向性	<b>①</b>	<b>①</b>	<b>①</b>	<b>①</b>	<b>①</b>					

※計画期間である平成30年度(2018年度)から令和9年度(2027年度)の本施策の内容に関する推移を示します。

# 施策の内容評価シート(令和4年度分)

1 計画における位置付け					
政策体系	総合計画	目標	04	心やすらぐ住みよいまちづくり	
		基本政策	08	持続可能な都市基盤の整備	管理コード 040821068
		施策	21	安全な水の安定供給	本冊ページ 71
	関連個別計画 第2次津市水道事業基本計画(平成30年度～令和9年度)				
担当部局		上下水道事業局			
施策の内容 (第2次基本計画) ※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果		068	水道施設を健全な状態で次世代へ引継ぎ、世代間の負担が公平となるよう、さらなる経営基盤の強化に取り組みます。		

2 「施策の内容」に係る主な事業の評価(事務事業評価)								
番号	事業名	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから (実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由)	
			効	誰	◆ 当初の事業実施計画	○ 実施評価		
担当課			何	何のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	○ 事業評価		
068-1	建設改良事業	老朽管更新、管網整備工事	効	持続する水道を目的とし、水道利用者に安全で良質な水道水を安定供給し続ける	◆	計画に基づき実施	○	基幹管路の管路更新に限り計画を下回っているものの、管路全体では計画を上回る管路更新が行われている。優先順位を検討し、計画的に管路更新を行っていく。
	誰		水道利用者が	◇	利用者の意見	○		
	何		安全・安心でおいしい水の安定供給が受けられる	2,370,065 (千円)	現状維持			
068-2			効		◆			
			誰		◇			
			何		(千円)			
068-3			効		◆			
			誰		◇			
			何		(千円)			
068-4			効		◆			
			誰		◇			
			何		(千円)			
068-5			効		◆			
			誰		◇			
			何		(千円)			

# 施策の内容評価シート(令和4年度分)

068-6	効	◆	
	誰	◇	
	何	(千円)	
068-7	効	◆	
	誰	◇	
	何	(千円)	
068-8	効	◆	
	誰	◇	
	何	(千円)	
068-9	効	◆	
	誰	◇	
	何	(千円)	
068-10	効	◆	
	誰	◇	
	何	(千円)	

※実施評価(計画どおり実施したか)…◎=計画を達成(100%以上) ○=概ね計画どおり(80%以上~100%未満) △=計画を下回った(50%以上~80%未満) ×=計画を大きく下回った(50%未満)  
 ※事業評価(効果があったか)…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない  
 ※今後の方向性…(さらなる)拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価		
	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上	<b>B</b>
	B 60点以上80点未満	
	C 40点以上60点未満	
	D 20点以上40点未満	
	E 20点未満	

4 今後の方向性		
	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持	<b>①</b>
	② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある	
	③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい	
	④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	

※総合評価は、主な事業の実施状況(実施評価)、事業対象者への効果(事業評価)の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。  
 ※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況										
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	<b>B</b>	<b>B</b>	<b>B</b>	<b>B</b>	<b>B</b>					
今後の方向性	<b>①</b>	<b>①</b>	<b>①</b>	<b>①</b>	<b>①</b>					

※計画期間である平成30年度(2018年度)から令和9年度(2027年度)の本施策の内容に関する推移を示します。

# 施策の内容評価シート(令和4年度分)

## 1 計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	04	心やすらぐ住みよいまちづくり		
		基本政策	08	持続可能な都市基盤の整備	管理コード	040821069
		施策	21	安全な水の安定供給	本冊ページ	71
	関連個別計画	第2次津市水道事業基本計画(平成30年度～令和9年度)				
担当部局	上下水道事業局					
施策の内容 (第2次基本計画) ※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果	069	定期的な水質検査の実施により、水質の汚濁を防止し、清浄な水を確保します。				

## 2 「施策の内容」に係る主な事業の評価(事務事業評価)

番号	事業名	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから (実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由)	
			効	誰	◆ 当初の事業実施計画	○ 実施評価		
	担当課		何	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	決算額 (千円)	今後の方向性	
069-1	工業用水道事業会計	工業用水道の水質検査	効	工業用水道の安定供給	◆ 第2次津市水道事業基本計画		○	毎年策定する水質検査計画に基づき、水源から給水栓までの水質管理を引き続き適切に行う。
	誰		使用者が	◇ 第2次津市水道事業基本計画による計画的な実施		○		
	水道施設課		何	工業用水道の安定供給を受ける	636 (千円)	現状維持		
069-2	水道事業会計	水道水の水質検査	効	安心・安全でおいしい水の安定供給	◆ 第2次津市水道事業基本計画		○	毎年策定する水質検査計画に基づき、水源から給水栓までの水質管理を引き続き適切に行う。
	誰		使用者が	◇ 第2次津市水道事業基本計画による計画的な実施		○		
	水道施設課		何	安心、安全でおいしい水の安定供給が受けられる	43,937 (千円)	現状維持		
069-3			効		◆			
			誰		◇			
			何		(千円)			
069-4			効		◆			
			誰		◇			
			何		(千円)			
069-5			効		◆			
			誰		◇			
			何		(千円)			

# 施策の内容評価シート(令和4年度分)

069-6	効	◆	
	誰	◇	
	何	(千円)	
069-7	効	◆	
	誰	◇	
	何	(千円)	
069-8	効	◆	
	誰	◇	
	何	(千円)	
069-9	効	◆	
	誰	◇	
	何	(千円)	
069-10	効	◆	
	誰	◇	
	何	(千円)	

※実施評価(計画どおり実施したか)…◎=計画を達成(100%以上) ○=概ね計画どおり(80%以上~100%未満) △=計画を下回った(50%以上~80%未満) ×=計画を大きく下回った(50%未満)

※事業評価(効果があったか)…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…(さらなる)拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価		
	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上	<b>B</b>
	B 60点以上80点未満	
	C 40点以上60点未満	
	D 20点以上40点未満	
	E 20点未満	

4 今後の方向性		
	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持	<b>①</b>
	② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある	
	③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい	
	④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	

※総合評価は、主な事業の実施状況(実施評価)、事業対象者への効果(事業評価)の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況										
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A	A	B					
今後の方向性	①	①	①	①	①					

※計画期間である平成30年度(2018年度)から令和9年度(2027年度)の本施策の内容に関する推移を示します。

